

## 会 議 録

会議の名称	平成24年度 第4回 矢島地域協議会
開催日時	平成25年3月19日 午後4時から
開催場所	矢島福社会館 2階会議室
出席者氏名	<p>委員 (16名)</p> <p>佐藤政一、佐藤允尚、正木正（会長）、大井仁史、小番より子 佐藤伸一、土田長夫、伊豆秀一、佐藤孝義（副会長）、佐藤久美 佐藤嘉孝、豊島一郎、菅原賢一、佐藤洋一、佐藤 公、土田典子</p> <p>(矢島総合支所) 総合支所長、建設課長 佐々木聡、市民福祉課課長 佐藤勝一 教育学習課長 佐々木正人、産業課長 三浦進一、</p> <p>(事務局・・・振興課) 振興課長 伊豆 葵、課長補佐 三森隆、主席主査 三浦浩喜 主査 畑澤 賢、</p>
欠席委員氏名 (13名)	五十嵐 徳、小沼文夫、原田浩司、三浦長吉、蒲田則男、土田 稔、佐藤系悦、 土田克夫、茂木 保、茂木美寶子、岸田良子、小番けい子、佐藤寿美子、
会議次第	<p>1. 開会</p> <p>2. 会長あいさつ</p> <p>3. 矢島総合支所長 あいさつ</p> <p>4. 協議</p> <p>① 平成25年度主要事業について</p> <p>② これからの矢島まちづくりビジョン（案）について</p> <p>③ 平成25年度地域づくり推進事業について</p> <p>④ 地域協議会の新たな組織について</p> <p>5. その他 合同受賞祝賀会について</p> <p>6. 閉会</p>
会議の経過	別紙のとおり

## 平成24年度 第4回地域協議会

1. 開 会 16:00～（進行：矢島総合支所 振興課長）

### 2. 会長あいさつ

今日は第4回地域協議会ということでご出席有り難うございました。2月20日の第3回に引継ぎについて協議案件については若干重複する所がありますが、今日は4つの協議題がありますので宜しくお願いいたします。皆さんご案内のように新聞紙上でそれぞれの分野の受賞ラッシュというような状況でありまして、合同祝賀会ということも計画しているところであります。後ほどその概要についてはご案内があると思いますので、その点についてもご理解頂きたいと思っております。開会に先立ちましてご挨拶に代えたいと思っております。

### 3. 矢島総合支所長あいさつ

皆さん年度末のお忙しい中、今年度の第4回地域協議会へのご出席誠に有り難うございます。先程会長さんも述べられましたが、鳥海高原ユースパークの「花立牧場工房ミルジー」の農林水産大臣賞、そして矢島カップ自転車大会の第1回のスポーツ振興賞、そしてやさい王国さんのふるさと秋田農林水産大賞、そして矢島小学校さんの東北・水すまし賞、さらに由利高原鉄道矢島地域協力が元気な由利の郷づくり賞を受賞されました。これは地域でお祝いすべきであるという思いが多くありまして、矢島地域協議会の正木会長さんに発起人代表になって頂きまして、先般14日に実行委員会を発足させて頂きまして、関係者の皆様方200名の方々にご案内を差し上げておるところでございます。本地域協議会の皆様方並びに関係する団体の委員に方々にご案内を差し上げておりますので、30日ご都合を調整いただきましてご出席いただきますように宜しくお願いいたします。また3月17日に矢島ひなめぐりが終了いたしました。今年は秋田新幹線の不通の影響、あるいは悪天候による羽越本線の不通等が影響いたしました。絵馬の販売枚数は前年は2100枚あったそうですが今年は1300枚ということで約6割程で、お客さんが少なくなったかなと言うところですが、最終日は天候にも恵まれまして、町の中を結構お客さんが歩いているのが見受けられました。それからお手元の矢小だよりの水すまし賞受賞と書かれている資料ですが、その裏面に3月1日に矢島小学校の6年生が「熟議」という取り組みを開催し、矢島小学校の校長先生からこれに出席頂きたいと強く要請を頂きまして出席させて頂きました。子どもさん達を目線での矢島町の未来像を語り合って、未来像をまとめてありました。最終的に「夢を語ろう、未来の矢島」と題しまして6年1組の子どもさんたち35名がそれぞれ作文を書かれまして、それを金校長先生が持ってきてくれまして読んで頂きたいと、できれば町の人たちにも読んで頂ける機会を与えて頂きたいと言うお話でありまして今日お配りさせて頂きました。後ほど目を通して頂ければ幸いです。今日の案件は3回目と重なる部分もありますが、皆様方から多くのご意見を頂きまして矢島総合支所の取り組みに反映させて頂きたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

振興課長

それでは早速協議に入らせて頂きますが、協議の進行については正木会長さんをお願いしたいと思います。

会長

それでは早速協議に入ります。協議①の平成25年度主要事業について担当の課長さんより

ご説明願います。

#### 振興課長

それでは最初に振興課からご説明もうしあげます。例年でありますと矢島支所に関する事のみでありましたが今回から議会に説明しております市全体の主要事業も含めましてご説明したいと思いますので宜しく願いいたします。主要事業につきましては先般の3月13日の協議会で可決になっている予算についてご説明したいと思います。地域づくり推進事業につきましては、2月の地域協議会で皆様からご審議いただきました12事業につきましては、300万の事業費で先週に内定通知を発送しております。それから地籍調査事業であります。今年度は24年度に実施しました立石の棚ヶ平、柳畑について本閲覧、登記手続きを行います。それから現地調査としましては、富山、太平山、岩沢カチ、葎ヶ沢のこの4字の現地調査の予定をしております。3番めといたしましては消防施設等維持事業529万9千円ということで、昨年川辺地区の小坂の上にあるサイレンの吹鳴装置の修繕を予算要求しましたが、川辺地区より移設して貰いたいと言う強い要望が出まして、修繕をやめ川辺木在のクリーンセンターの脇に新しく塔を建てましてサイレンの装置を移設するという事です。今まで木在等から聴こえづらいという意見がありましたが、そのような対応をしていくという事でございます。次がコミバスの桃野線運行業務委託についてですが、これにつきましては昨年10月より実証運行を開始しまして今年4月から408万3千円の事業費で行います。これにつきましては先般入札がありまして、鳥海の周防工務店が落札して運行をする事となっております。それから振興課関係の議会に提出しております由利本荘市全体の主要事業の矢島地域に係る事業について説明いたします。総合計画策定事業として市民アンケートほか調査委託業務等を795万4千円で行う、それから国民文化祭開催費としては5主要事業のイベント等を1210万1千円で行う予定です。それから選挙事務費として2億6946万円が計上となっておりますが、これにつきましては4月7日の県知事、市長選挙、市議会の補欠選挙、それから7月予定となっております参議院議員選挙、それから10月予定となっております市議会議員選挙の予算であります。振興課関係につきましては以上であります。

#### 市民福祉課長

矢島地域における主要事業でございますが、矢島地域敬老会について今年も開催予定でございます。6月1日に出席予想者が450名ということで予定しております。それからデイサービス「福寿荘」・矢島斎場につきましては修繕、交換工事であります。福祉会館につきましては都市計画課の所管になるわけですが、耐震調査を行います。なお合築になっております商工会館もあわせて耐震診断を行う予定でございます。それから市全体の主要事業の中から二つ程説明させていただきます。民生費の地域ミニサービス活動支援事業でございます。金額はそんなに大きいものではありませんがこの事業について若干触れさせて頂きたいと思っております。なおこの事業につきましては地域協議会の町づくりビジョンで提案されました事と多少関連する部分もございますのであえて説明させていただきますが、この事業の中身としましては、引きこもりがちな高齢者の孤立化の解消やうつ病防止などのため高齢者が気兼ねなく集える町内会館等を会館に町内会のボランティアが運営にあたり気軽に参加できるサロンの場を高齢者に提供していくことを目的としていると言う事で、矢島地域においては既に大川原地域で開催されているものでございます。ただ今申し上げましたように高齢者の孤立などを防止するといったような内容で、町内会が主体的に行われるものに対し初年度は備品の購入などの補助、ボランティアの補助、2年度以降はボランティアに対する報酬の支払い等を補助しようとするもの

でございますので、それぞれの地域においても利用して頂きたいというPRも兼ねて紹介させて頂きました。それから矢島に若干関連することとしまして衛生費の本荘清掃センター基幹的設備改良事業でございます。これにつきましては平成23年度の10月28日の本協議会におきましても説明したものでございますが、平成25年度から26年度までかけまして基幹改良を行います。そして平成27年の4月1日から改良を加えた設備で稼動するというスケジュールとなっております。ここで関連するのは矢島・鳥海の焼却炉でございますが、本荘清掃センターが稼動した平成27年度4月1日には矢島・鳥海の焼却炉は廃止になると、その後平成28年の工事を経て最終処分場として使用される予定となっております。以上でございます。

#### 産業課長

私のほうからは、矢島バイオセンター堆肥攪拌機ロータリー交換修繕についてですが335万円の予算がついております。平成11年に作られましたバイオセンターですが今まで大規模な修繕をやっていなかったののでいつ壊れてもおかしくない状態となっておりますので、今回予算がついております。次にクワッドリフトクランチ装置点検整備業務委託についてですが、矢島スキー場のリフトも8年ほど経過しておりまして安全のためにはということで予算がついております。次に“あきたを元気に！”農業夢プラン実現事業（農政）ですが農政のほかに畜産もあります。これにつきましては県から12分の4、市でプラスαして行うものですが、農政につきましてはアスパラガス・リンドウという事で今年は既に5人の方から申請が入っております。それから新規ということで青年就農給付金事業ということで農家の皆さんに「人・農地プラン」の意向調査をお願いしております。その後に青年就農給付金に該当する方がおりまして、年間150万くらいの特典的なお金が来るという事業です。それから集落営農法人化設立助成事業ということで、集落営農としてはあるけれどなかなか法人化に進んでいないという、そして今年法人化にしなければならない地域もありますので、そういう所への支援事業ということになります。それから“あきたを元気に！”農業夢プラン実現事業の畜産部門であります。これにつきましても矢島では16件の申請が来ております。そして農地・水・保全管理支払い交付金であります。これにつきましては6箇所ほどの農地の240haほど該当していますが、農地を守るために組織をして頂いて活動して頂いております。それから鳥海山麓二次交通アクセス推進事業ですが、これにつきましては矢島駅から花立方面に行く場合なかなか交通機関がないということで、二次交通アクセスということで観光客の誘客をする助成をして観光客の誘客をしようという事業であります。桑の木台湿原魅力アップ事業では大々的にシャトルバスを運行して実施しておりますが、今年も1千万程予算をみて実施する予定で進めております。産業課関係では以上でございます。

#### 建設課長

それでは建設関係の説明をさせていただきます。最初に道路新設改良事業でございますが、これにつきましては26年度末の使用開始に向けて県のほうで前杉バイパスをやっていますが、川原、小坂の今の旧道から前杉へタッチする部分でございます。これにつきましては今年度、市のほうで用地測量をする予定でございます。先の3月15日におきましては事業計画の担当であります県の振興局の方で了解を得たところでございます。今後の用地の取得につきましては10月以降になりますので今年度は田んぼ等の耕作をして頂きまして刈り取り後に用地の取得をしてまいりたいと思います。引き続き道路につきましては前杉バイパスの供用にあわせまして26年度に県のほうで事業するという予定になっております。次に建設機械整備事業についてですが来年度は小型ロータリーを1台矢島地域で更新する計画となっております。道路補

修事業につきましては今年度は針ヶ岡の二箇所、約480メートルの舗装等の打換えを予定しております。できれば8月中旬のお盆前には完成するよう作業を進めてまいりたいと思っております。次に災害防除関係ですが、昨年祓川からの道路の崩壊がありまして、これにつきまして1400万であります。復旧作業をし7月下旬の自転車大会には工事を完了いたしまして対処したいという計画でございます。それから市道猿倉花立線につきましても道路のクラックと法面の崩壊がありまして、これも災害防除で対応するという計画で、4月から現地の測量等がありまして9月下旬までには仮設道路を通し通行可能にしたいと思っておりますし、11月下旬までには完成をめざしたいと思っております。次に公共下水道事業の修繕料、委託費についてですが、公共下水道、集落排水、簡易水道の事業等々の事業にとともないます施設の経年劣化、修繕等でございますので宜しくお願いいたします。それから全体的な話になりますが、長寿命化計画の橋梁修繕計画策定業務でございます。これにつきましては由利本荘市で現在926橋あるわけでございますが、来年25年度に橋梁修繕の調査を行いまして、26年度より順次修繕をする予定になっております。次に道路維持事業の定住自立推進事業が矢島につきましては道仏坂上原線の国道から入って曲がった所すぐの左側の斜面でございますが先に災害がありまして現在仮普及しておりますが、雪崩予防工事をする予定で予算といたしまして950万円の予定をしており、11月末の降雪前に完了を目指しているところでございます。それから住宅リフォーム資金助成事業につきましては来年度も約一億でございますが事業を展開する予定でございます。30万円以上の工事費の一割負担ということで限度額が10万円でございます。今年度の矢島地域でのリフォーム助成事業の実績といたしましては32件、皆様にご活用頂いております。全体としては約940件ということで全体の24年の終わりまでの助成金額が約8千2百万ということで、これに伴う事業効果といたしまして10億8千万円程工事費として動いておりますので色々な経済効果に寄与しているのではないかと考えております。以上でございます。

#### 教育学習課長

教育学習課より報告させていただきます。青少年ホームの冷暖房の修繕ですが現在地下タンク式の重油ボイラーで行っておりましたが、地下タンクの消防法の改正がありまして補修しなくてはならないと言う事で、これにお金をかけるよりは灯油式ボイラーに取り替えたほうが良いという判断をいたしまして、灯油式ボイラーと必要な部屋に冷暖房の空調を設備する工事でございます。次に矢島格技場の駐車場の舗装がかなり痛んでおりまして、舗装の打ち換えと一部砂利の部分をあわせまして舗装するという計画でございます。それから矢島小学校の創立140周年記念事業ということで矢島小学校では11月17日に開催する予定となっております。内容といたしましては記念講演及び記念誌の発行などに予算を使わせて頂きたいという案が出ていますが、詳しいことは小学校のPTA実行委員会で調整が行われることと思っております。全体事業といたしましては教育費の指定文化財保存活用事業ということで、土田家住宅の萱葺き屋根の老朽化が進んでおり全面の葺き替えを申請しております。今年度採択になる予定でございます。全事業費といたしましては2,500万程かかるわけですが国の補助85%、市が7%ということで、この中には市の補助金が180万ほど含まれております。これは直接市の予算とは関係がありませんが水林球場のこけら落としとしてイースタンリーグが今年6月29日30日の土日に計画されております。もう一つ水林関連になりますがドリームベースボールということで、プロ野球のOBの方と地域のかたの親善交流ということで地元チームとの試合等も計画されているようでございます。それからチャレンジデー2013につきましては由利本荘市がチャレンジデー2013にエントリーしたということで、これは一日の間に15分間以

上スポーツをやった人の参加人数を由利本荘市と同等の人口の市と対戦しその参加率によって勝敗を決めるユニークな取り組みで、これについては参加者の自己申請がないと集計できないので数値が上がらないと由利本荘市の負けとなります。ペナルティとして対戦相手の市旗を市庁舎に掲げなければならない等がありますので皆さんに参加をして頂いて、由利本荘市の勝利を目指して行きたいと思います。これについての詳しい取りまとめの説明があると思いますがこう言う事が行われるということで情報提供をさせて頂きました。以上です。

振興課長

最後に私の方から総合支所の庁舎建設の予算が当初予算ではつきませんでした。この事について6月補正で地質調査の予算を要求してそこからスタートするような形で現在考えておりますので宜しくお願いいたします。以上です。

会長

25年度の主要事業の説明をして頂きました。この件について御質問、御意見頂きたいと思えます。

A 委員

全体事業の商工費の新規事業ということで鳥海山の二次交通アクセス推進事業の説明を頂きましたが、これは駅に降りた後タクシーなどを使ったときに出る補助なのですか、それとも新しいコミュニティバスなどが出るという事ですか。

産業課長

まだ内部資料という形ですが二次交通の構築ということで、鳥海山麓の観光スポットを結ぶ周遊バスを運行し入込客の増加を図るのですが、料金として500円のワンコインで運行するような形なようです。

A 委員

わかりました。

会長

他にございませんか。

B 委員

同じことですが、桑ノ木台の湿原魅力アップ事業とはどういうことでしょうか。これも昨年度は申し込み制で500円かただでバスを運行したように記憶しているのですが、

産業課長

シャトルバスは出しておりますが国有林地内なので営業できないため、無料でシャトルバスに乗って頂きピストン輸送したという状態でした。

B 委員

国有林だと営業できないんですね。

産業課課長

同じ理由で祓川も営業できないという事です。

B 委員

はい わかりました。

会長

他にございませんか。

C 委員

わからない事で聞いてもいいですか。 産業課事業の中の集落支援員設置事業で集落支援員2名とありますが、かなり大きな額ですがどのような使い道でしょうか。

産業課長

この2名というのは矢島に2名ということではなくて、由利本荘の中で2名ということで昨年であれば坂の下地域に支援に入っていますし、金額的には2人の報酬ということになります。

振興課長

補足させていただきますと、集落支援に際しては全市で2名採用しております。これを全国で公募しまして地域おこし隊と同じレベルで採用しています。矢島地域では坂之下と谷地沢に入りまして、それぞれ地域の調査をしたり、地域の活動に対しての支援を行っております。これは人件費のほかに活動費も入っているということでご理解いただきたいと思います。以上です。

会長

他になければ次に進みたいと思います。 ②番のこれからの矢島まちづくりビジョン（案）について説明をして頂きます。先般協議内容について修正という部分がありましたので、その点について御説明するという事でしたので宜しく願いいたします。

振興課長

このビジョンにつきましては先般皆様から色々な意見を頂きまして、承認を頂いたということになっておりますが、ご意見を頂いた件についての修正の箇所について担当のほうからご説明させて頂きたいと思いますので宜しく願いいたします。

振興課長補佐

以前にお配りいたしましたこれからの矢島まちづくりビジョンの修正の箇所が載っているという事でございます。先ず市民福祉専門部会でございますが町づくりビジョンでは10ページ～24ページのところでございます。報告全体の「たまり場」という表現を「つどいの場」という表現に変更するという事でございます。それから15ページでございますが上から3行目の部分の「【参考資料】参照」を削除するでございます。それから20ページですが、こちら人口構成の表がのっていますが、これを本日の資料の12ページのグラフに差し替えるという事でございます。もともとの表の数値がグラフ化されるという事でございます。それから22ページの部分ですけれども下から4行目の「居場所・たまり場づくり」という表現を「つどいの場（たまり場）・居場所づくり」に変更するというものでございます。それから23ペ

ージの一番最後の行ですけれども「【参考】として加える」を「【参考】の一覧に加える」に訂正するものでございます。それから24ページですが、12行目と13行目の「(事務局注：車の～の予定。)」のところの二行を削除するというものでございます。市民福祉専門部会の部分では以上でございます。それから振興専門部会についてでございます。58ページの・3)「目指すべき方向」の中の「選定した候補地」の中にごございます「第2案 旧矢島高校跡地」と「第5案 旧矢島中学校跡地」の後に、「(の一部)」を加えると言う修正でございます。現在ある敷地全体ではなく、その一部であるという事でございます。それから候補地検討結果の「候補地を比較検討～」という所です。「利便性の観点から駅周辺を推す意見もあったが、防災面を始め総合的に候補地を比較検討した結果第2案旧矢島高校跡地が最適であると判断した」と続くように変更したいと思えます。それから64ページのところでございます。鳥海山麓線の利用状況でございますが「旅客数の推移(見込み)」と「定期券利用者数の推移(見込み)」と二つの表が載っておりますが、その後にそれぞれ「※平成21年度までは実数値」を加えるという注釈をつけるという事でございます。さらに最下段に「※出典：由利高原鉄道活性化計画(平成23年度～平成28年度)」と言う表現を加えたいと思えます。このデータにつきましてはまだ計画期間内ではありますが平成22年度に作成した資料でございますが、かなり古い状態でございます。現在由利高原株式会社さんより新しい資料を取り寄せまして、いずれこの部分につきましては新しい資料に差し替えたいと考えておりますので宜しく願いいたします。それから65ページでございます。一番下の3行の部分でございます。(3)目指すべき方向の②自主防災組織についての内容を「②(1)」としましてその後に「(2)と(3)」を加えるという事でございます。付け加えます2)と3)を読み上げさせていただきます。2)消火栓ボックスとその中に入っている消防ホースの劣化について改善を求める声が多い。消火栓の活用による初期消火活動は、火災の鎮圧に大きな力を発揮する場合もあることから、これらについては積極的に更新を図っていくべきである。3)自主防災組織では、洪水や火山泥流の氾濫、ため池など、危険箇所の調査と対策検討が必要である。この二つを加えるものでございます。次に66ページでございます。「③住民への告知手段について」の後に、次を加える。ということで「④消防団について。消防団員の確保については、一般団員の他に機能別団員を増員することにより、現場で活動できる人数を確保するべきである。」を加えたいとするものでございます。修正表につきましては以上でございます。

会長

前回ご意見を頂きました事に対しまして、その部門ごとに修正をいたしておいております。これにつきまして何かございますか。

C委員

お願いがあるのですが。65ページの防災関連の自主防災組織の下のほうで「危険箇所の調査と対策検討が重要である」とありますが、こういうものに対しての後の押しが少し不足のように感じますが、「十分に行政でも配慮し対処すべきだ」というような文書はつけられないものですか。これでいくとただ調査するだけでそれに行政が積極的に対応していくという部分がなければ、活動は円滑にいかないのではないかと思います。如何でしょうか。

会長

C委員よりご指摘がありました。支所長さんの判断を仰ぎたいとおもいます。

## 総合支所長

先般自主防災組織の正副会長会議に出させて頂きまして、その中で老朽ため池、とりわけ管理者が不在、不明のため池など全体の安全性が懸念されるといったお話がありますが、そういったものを地域の中で把握していくことが大事であって、これは単に自主防災組織の取組と言った形ではなくて、矢島総合支所さらには本庁の課とも連携をとって現場、現地の確認をしていく必要があると捉えております。そんな中、農林水産省のサイドでも東日本大震災のため池等の安全性への懸念から25年度からは全国の老朽ため池の調査を国の事業として取り組んで行こうという方向に進んでいます。県の方でも老朽ため池の安全性の確認という事は地域防災等の観点からも大変重要であるという捉え方で、県としても25年度の調査事業に入っているという事を農林水産漁村・農山村漁村振興課のほうからお話を聞いております。私どもとしましては国の事情・動向、県の事業取り組みの内容等について、最終的に危険なため池についてどう対処するかという事の問題になって行きますので矢島総合支所としましては25年度は他と連携をとって調査を進めていかなければならないと認識をしている所でございます。文章表現等についてはただ今の解答のところでご理解をお願いしたいと思っております。

## 会長

いずれこの文言からいきますと、危険箇所の調査とその対策については行政が積極的に係わるというような文言の挿入をという希望のようですので、C委員、行政が積極的に係わるというような文言に変えていくということでご了承いただけますか。

## C委員

防災組織の活動の一環としまして行政に支援を求めるという意味で、対応するのは行政の判断でしようが、この組織が円滑に活動するには所管につけておかないと人の活動だけでは十分に機能しないという事を申し上げるべきだと思って言ったので、行政の支援を求めるということくらいはつけるべきでないかなと思います。

## 会長

これは市に届ける地域の思いですから、そういう思いを伝える文言に変えたいと希望したいと思っております。

## 総合支所長

今のご発言の内容についてお話をさせて頂きたいと思っております。この町づくりビジョンの方向性ということでまとめて頂いたわけですが、これからの25年度の作業としてここで織り込まれた色々な点描をどう実現していくべきかと言う事について、事業手法の問題、あるいは計画のさらなる掘り下げ検討に引き続き取り組んでいかなければならないと考えております。ただ今後発言のあったような老朽ため池等の安全性の確保などに関しても行政側の取組として、その過程の中でご回答、あるいは方針を示すことが出来るような事が出てくるかと思っております。そういった意味で25年度は今のご提言を受け止めさせて頂きながら国の動向、県の事業の取組の内容、更に市の他の方の取組の内容等の情報を十分把握しながら、皆様方に適時お知らせしながら対応していきたいと考えておりますので、そういう所での私どもの考えをお汲み取り頂ければ有難いと思っておりますので、お願いするところでございます。

会長

市の考え方も含めて支所長さんからお話がありましたが、そういう思いを届けるような文言に変えて頂くということによろしゅうございますか。

各委員

はい。

会長

それでは協議③の平成25年度地域づくり推進事業について説明願います。

振興課長

これについてはご報告であります、「25年度地域づくり推進事業」事業要望一覧の中に、先月の2月に地域協議会の皆様にご審議いただきました12事業について一番右側の決定額とありますが、これが前回298万ということで300万まで2万円届かないような説明をしたわけですが、これを端数を各事業に按分しまして300万ということに直しております。この部分について内定書をそれぞれの申請団体に送っておりますと言う様な報告であります。以上です。

会長

この件につきましては説明ありましたように、内容については変わりありませんが、決定額について整理をしたという事であります。このような説明でご了承いただけますか。

各委員

はい。

振興課長

付け足しで補助金削減の中で開催が大変厳しいと言われました鳥海山フェスタ実行委員会の方では、協賛金をお願いして事業内容を変えないで5月のイベントを実施していくという事になったようですので皆様にご報告をしておきます。以上です。

会長

それでは④の地域協議会の新たな組織についてを議題にしたいと思えます。説明をお願いいたします。

振興課長

先般の地域協議会において、これからの地域協議会のありかたを皆様より議論いただきまして、新たな組織と言う事で意見集約をさせて頂きました。この内容についてこの後4月に地域協議会の正副会長会議が開催されまして、各地域協議会で意見集約して方向性を決定していきたいという計画となっております。その中で矢島として参考案に記載されているものとして、具体的な内容の提案がありましたら皆様から出して頂きまして、正副会議に臨みたいと考えております。先般幹事会が開催されましてこの件についても協議頂いておりますが、その中で出てきた意見として今回24年度矢島地域で行いました町づくりビジョンを検討して頂いた時に専門部会を設置して行いましたが、テーマを決めてそれぞれ専門委員会なるものを設置した

方がいいというような意見が出ております。それから地域づくり推進事業がそのまま継続になるのであれば、地域協議会の中に審査委員会なるものを設け、詳細について審議してそれを全体の会議で承認していくという制度がいいのではないかと、今の地域協議会の中でも認められておりますが、学識委員の専門家をテーマに応じた形で設定できる規約が必要になってくると言う意見も出されております。それから定数につきましては20人以内で概ね良いのではないかと、今日皆さんから意見を頂きまして正副会長会議で矢島地域協議会の意見として提案していくという事となると思いますので宜しくお願いいたします。

会長

皆さんから新たな組織案につきまして思いのある所のご意見を出して頂ければ、次の会議に望むに相応しい事かなと思われま。地域協議会の役割というものがかなり変わってくると思いますので3. 役割についても協議会の会議、立案というような事となって、今までとは様変わりすると考えておりますので町づくり協議会の活動範囲というものが今までとは違った形になるのかなと思われま。忌憚のないご意見を頂きたいと思われまので宜しくお願いいたします。

新しい組織づくりは、25年度は継続年数が今までのように3年ということはまだ定まっていない様ですがこのような組織体を作りながら活動していくという考え方だそう。他の地域の地域協議会の情報を見てもこのような原案には賛成だという事のようにござい。今までの活動の中でこのようにした方がいいと思うというような考えなどがあつたら出して頂ければ次の組織体に反映できるかなと思われまので、ご発言の程宜しくお願いいたします。

D 委員

6月からの新しい委員が選出された時に、その方々が進むべき道を模索する機会もあると思うので、今ここで議論しなくても今までの経験も十分踏まえて話し合いをされたように思われまので、あとは新しい方々が決まった段階で新しい方向に向かっていければ十分でないかなという感じがしますが如何でしょうか。

会長

まったくその通りでござい。新しい組織体の方向性というものは新しい組織体の中で議論して決めていくのがベストかなと思われまので、新しい組織体の方向性まで決めていくと言うことは難しい課題かなと考えております。私たちの任期は6月末ということになっておりますので矢島町の基本的な考え方を提示して次に望むという事で良しとすればこのような考え方でまた新たな会議に臨みたいと思われま。そういう考え方でいいでしょうか。

各委員

はい。 いいです。

会長

長時間にわたり有り難うございました。いずれこの協議会もまだ任期がありますので第5回目という地域協議会もあるかも知れませのでその時にはまた宜しくお願いいたします。本日はどうも有り難うございました。